



5月1日号

回覧

高齢者あんしんセンター希望館たより

本人の声を聴く時代から、本人が語る時代へ。
さらに、その先には、本人がその人らしく活動する時代へ。

認知症の人がその人らしく活動する時代に向けて、日本認知症本人ワーキンググループでは、「認知症とともに生きる希望宣言」を2018年に発表しました。

認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で、生まれたものです。「認知症になったらおしまい」では決してなく、「よりよく生きていける可能性を私たちは無数に持っています」と発信しています。

高崎市では、認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合う場所である、『**本人ミーティング**』の開催を目指しています。関心のある方は、裏面あんしんセンターまでお問い合わせください🌸



「認知症ってなあに」をテーマに展示会を開催！

小さい時から、認知症を身近な病気と感じてもらい、他人事ではないと正しく理解が出来ることで認知症に対する偏見をなくすことを趣旨とし、高崎市立中央図書館で認知症関連の本の貸し出し、参考資料やチラシなどの認知症コーナーを設置しました。

<第1回> 令和元年8月1日～8月27日



小学生にも分かりやすいパネルと紙芝居のケース展示

<第2回> 令和2年8月1日～8月25日



夏休み期間で親子向け中心にパネルと認知症の絵本・児童書をケース展示

裏面もあります



